

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
1	地域づくりネットワーク会議について、会議内容、メンバー構成、スケジュール等について確認したい。	<p>自主的、自発的に公共的事業を行っている方々、いわゆる市民活動団体を集めて会議を開催し連絡調整を行うことを考えている。</p> <p>地域づくり団体といっても活動分野、内容等様々あるので、こういった方々を集め、連携を深め、単体で動いている事業を繋げることで何か事業ができないかということを考えていきたい。</p> <p>市民活動団体の登録制度の創設等により、活動のアピール等の支援を行い、平成31年度開催を計画している。</p>	市民課	無	資料2 No. 1
2	市民活動災害補償制度とはどういったものか。	<p>ボランティアの保険は今もあるが、市に登録のある団体のもの又は市主催のものしか保険対象にならない。今回考えているのは、地区の行事、小規模団体の活動も対象にするものである。</p> <p>現行の制度は登録、事前申込が必要であるが、新制度は祭礼準備等の日々の地区の活動でも対応できる。</p>	市民課	無	資料2 No. 1
3	デマンド型交通について方向性等が計画されているか。	<p>デマンド型交通については、市地域公共交通網形成計画を現在策定中であり、先般実施したアンケートを分析しているところである。このアンケート結果に基づき、市に合った計画を策定したい。</p>	企画課	無	資料2 No. 6
4	<p>今年3月のダイヤ改正により、JR内房線の君津以南の直通本数が減ったことを受け、先般、館山市、南房総市に在住の方が、復活に向けた署名活動の協力依頼に来たが、富津市としてどうするのか。</p> <p>また、JRは一度決めたらなかなか意見を変えないと認識しているが、実際はどうか。</p>	<p>今年3月のJR内房線のダイヤ改正によって、君津以南の昼間の直通列車の廃止があったのは事実である。JRの言い分としては、東京方面からの乗り継ぎが良くなったとのことだが、引き続き市長が先頭に立って、沿線自治体と共にJRに要望していきたい。</p> <p>JRからはダイヤ改正が決定された後に報告があるのが実際のところである。そのため、ダイヤ改正を決定する前に協議の場を設けるように市長を先頭に要望したところである。</p>	企画課	無	資料2 No. 6

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
5	市地域公共交通網形成計画について、学校再編に関連したスクールバスの運行計画も含めて検討しているか。	公共交通の利用者、担い手が減少している一方、通学手段としてのスクールバスも重要であると認識している。市地域公共交通網形成計画と市小・中学校再配置計画の計画期間も重複することから、相互に調整していきたい。	企画課	無	資料2 No. 6
6	大堀バスターミナルについて、どういった状況か。	市地域公共交通網形成計画において検討していきたい。	企画課	無	資料2 No. 7
7	子育て何でも聴きます窓口はワンストップ対応しているのか。	今年度から窓口を一本化し、窓口に来た人が移動せずに、関係課の担当者が子育て支援課へ来て対応している。また、窓口一本化に加え、4月から相談室やブースを設け、事業を実施している。	子育て支援課	無	資料2 No. 18
8	市長公約で鋸山を取り上げたのはうれしいことである。鋸山の他に、第一海堡も活用してもらいたい。	鋸山については、来年度に文献等資料を調査していく。また、有識者を交えた検討会にもっていききたい。	生涯学習課	無	資料2 No. 40
9	富津市いきいき百歳体操について、事業内容、目標値の設定根拠を確認したい。	<p>本事業は、平成28年度に大堀2区をモデルとして実施し、平成29年度から地域づくりによる介護予防の取組として市内全域に広めるものである。</p> <p>モデル事業の実施効果としては、週1回の体操を3ヶ月実施したところ、筋力の向上等が確認できた。</p> <p>目標値の設定根拠については、1回あたりの実施人数を10人とし、実施会場、回数の増加を見込み試算している。</p>	介護福祉課	無	資料3 P9
10	<p>自主防災組織設置数の目標値の単位は何か。</p> <p>自主防災の講演等を行ってもなかなか自主防災組織率は上がらないと認識しており、区長から呼びかけてもらうこと等が必要だと思うが、目標達成に向けてどういったことに取り組むのか。</p> <p>また、自主防災組織活動で負傷した場合、保険対応等はどうか。</p>	<p>自主防災組織設置数の目標値は、「%」表示ではなく設置数であり、107ある行政区のうち、70の行政区で組織することを目標としている。現在の自主防災組織設置数は62団体である。</p> <p>自主防災組織活動で負傷した場合の対応については、把握できていない。</p>	防災安全課	無	資料3 P11
11	目標値を平成31年度に70としているが、変更はしな	最終的には、100%達成を目指すべきと考えるが、	防災安全課	無	資料3

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
	いのか。	平成 31 年度までということで段階的に設定したところであり、今回は改定しない。			P11
12	<p>高速バス関連施設について、浅間山バスストップでの連絡交通網はどのような形で考えているか。</p> <p>市外の利用客に対しての利便性については、どのようなニーズ調査を行っているか。</p> <p>アンケート結果によって、二次交通を設置しないこともありえるのか。</p> <p>高速バス利用者が上総湊でJRに乗り換えて来訪する人も少なくない。観光客は二次交通が無いと困る。観光の観点から、現状より不便になる形は避けていただきたい。</p>	<p>浅間山バスストップの二次交通についても、アンケート等を基に必要性、市民・事業者の意向からどのような手段が考えられるのかを公共交通会議の場で検討していく。</p> <p>観光客のニーズの把握は難しいが、各種アンケート調査を行っているところである。</p> <p>二次交通を公共で実施するのか、タクシー等他の手段もあるのか、どれが適切な手段か探って、現実としてベターな策を事業者と検討したい。</p>	企画課	無	資料3 P12
13	<p>都市計画マスタープランとは、そもそもどういったものか。また、都市機能と地域資源がバランスよく配置されるまちづくりとは、どのように考えているか。</p>	<p>都市計画マスタープランとは、市が定める都市計画について土地利用の基本的な方針を定めるものである。</p> <p>平成 10 年 3 月に策定した都市計画マスタープランは、平成 27 年度の人口目標を 12 万人としたものであったため、人口ビジョンに沿った計画に見直したところである。</p> <p>富津地区は一定程度都市機能が集約していることから、引き続き賑わいと活気に満ちた地域、金谷等の南部地域は豊かな自然に包まれゆったりとした暮らしのできる交流の活発な地域といったように、富津、大貫・吉野、佐貫・湊、南部と 4 つの地域に分けて、それぞれに目標を立てている。</p>	都市政策課	無	資料3 P13
14	<p>広域連携による公共施設の共同化について、火葬場及び水道事業それぞれの統合によるメリットとデメリットは何か。</p>	<p>火葬場については、人口減少の中、将来においても質の高いサービスを安定して供給提供することを目的としており、4 市で共同運営することにより、単独での施設整備、管理運営に比べスケールメリットにより負担軽減が図られることがメリットである。</p>	環境保全課	無	資料3 P13

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
		<p>デメリットは、現在は本郷にある火葬場が、木更津市まで行くことになるので、距離が遠くなることが考えられる。</p> <p>水道事業については、水の安定供給、職員の退職による技術の継承、人口減少による料金収入の減少等の課題解決に向け、4市と君津広域水道企業団の併せて5団体を統合するものである。</p> <p>統合によって、国の補助金の活用が可能であり、将来的に水道料金を低く抑えられることがメリットである。</p> <p>デメリットは、事務所が木更津市になるため、遠くなることが考えられる。</p>	業務課	無	
15	<p>危険空き家指導について、具体的にどう指導、対処するのか、管理不全空き家の状況確認の方法及び判断方法を確認したい。</p> <p>また、判断基準は一般市民も閲覧することは可能か。</p>	<p>現在は危険空き家の所有者に対して、適正管理するようお願いをしている状況である。</p> <p>現在の調査方法は、水道部の保有している水道の閉栓データを活用し、県の手引きに沿って外観目視により判断している。</p> <p>また、判断基準は公表しているため、一般市民も確認できる状態である。</p>	都市政策課	無	資料3 P17
16	<p>赤ちゃん休憩室事業とブックスタート事業について、事業内容を確認したい。</p>	<p>赤ちゃん休憩室事業は、不特定多数が利用する施設において、授乳、オムツ替えの設備を整備促進することにより、乳幼児を持つ親が安心して出かけられることを目的とした事業である。</p> <p>設備を整備した事業者への補助による整備促進を考えており、事業者には、認定ステッカーを貼ってもらい、市のホームページ等で周知を図っていきたい。</p> <p>ブックスタート事業は、新生児に対し、4ヶ月児健診時にボランティアによる本の読み聞かせを行うことで、親子のコミュニケーションを図ることを目的に</p>	<p>子育て支援課</p> <p>生涯学習課</p>	<p>無</p> <p>無</p>	<p>資料3 P19</p>

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
		<p>した事業である。</p> <p>また、今年度4月以降に出生した子どもには、9月の健診から絵本を配布する。</p> <p>実際に読み聞かせを実施したところ、新生児が本を凝視したり、読んでいる人に反応したりと興味を持っている様子が確認できている。</p>			
17	<p>ふるさと育英資金事業について、事業内容を確認したい。</p>	<p>育英資金については、高校生、大学生、専門学生に対して現在も制度を設けている。総合戦略に掲げた事業については、現行制度に加えて、富津市への帰郷を促すことを目的とした就学に対するの制度であり、卒業後、富津市に一定期間住民登録した人に対し、貸し付けた育英資金を減免、免除する制度を考えている。現在は条例整備に向けて準備中である。</p>	教育総務課	無	資料3 P21
18	<p>就職希望の学生に対し、市内就職者に手当支給する市町村があるが、富津市は考えているか。</p>	<p>市内企業に就職したときのインセンティブについては、今後検討したい。</p>	企画課	無	資料3 P21
19	<p>教育環境の関係で、統廃合について立地は大切である。場所は決まっているようだが、市全体としていろいろな観点で考えてほしい。</p>	<p>天羽中学校は既存の体育館や武道場を計画的に改修してきた。背景は大規模改修をする予定だったが、調査で構造体が劣化しているため建替えとなった。それを含め事業を進めている。</p>	教育総務課	無	資料3 P21
20	<p>雇用ニーズの把握とあるが、具体策はあるか。</p>	<p>各企業のニーズは把握できていない。労働基準監督署、ハローワーク、新富工場協議会等と連携し、地元企業のニーズを把握し、奨励制度等へ反映していきたい。</p>	商工観光課	無	資料3 P23
21	<p>創業支援について、過去の創業実績等から目標設定したのか。</p>	<p>創業支援事業については、今年度から開始したため過去の実績資料は無い。昨年度策定した創業支援計画において、4つの事業に掲げた目標値の合計を5件としている。</p>	商工観光課	無	資料3 P23
22	<p>富津産品のブランド化について、農業で木更津市と鴨</p>	<p>近隣市の有機農法の取組は認識している。有機農法</p>	農林水産課	無	資料3

総合戦略改定素案に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No	意見	回答（創生会議における各課の回答）	担当課	総合戦略 修正の有無	資料
	川市で有機農法を市のブランドにしようという動きがあり、鴨川市では大規模農場に市の関係者を派遣し、農法を習得させている。富津市はこの点についての考えはどうか。	は高い技術を要するので、有機農法をやりたいという農業者には支援していきたい。			P24
23	新しい施策が14あるようだが、数年前まで財政破綻の話もあったところであり、新たな施策の実施にあたって財政面は大丈夫か。	全ての事業について、選択と集中をしながら行政運営する。その中で今回、子育てや健康に注力したところである。これまでの経営改革と同じく、身の丈にあった経営をしていき、新たな施策で財政が悪化することは無い。	経営改革推進課 財政課	無	全般
24	工業に関して、天羽高校に電気科、機械科を新設して、市の工業地帯に対応するような話があったがどういった状況か。 企業としては、最初から知識を持った人を採用するのがベターと考える。そういったことに対応するため、基礎知識を持った人材を育てられるよう市内の高校への工業科設置を進めてほしい。	市の工業地帯に進出企業が数多く立地しており、そこに多くの雇用があるのは認識している。しかし、地元の子どもたちが全国の子どもたちと同じ土俵に立って採用試験を受けられているのか心配していたところである。 工業高校を卒業した地方の子どもたちが多く勤めているという実態がある中、地元の子どもたちは不利な状況で就職の競争を戦っていると感じている。 そうしたことから、県の教育委員会に対して、市だけでなく天羽高校校長、同窓会の方々、地区の方々とともに、今の時代の進出企業のニーズにあった学力、技術を身に付けられる学科コースを天羽高校に設置するよう働きかけていきたい。 また、地元企業からも地元の人材雇用について理解を得られており、県に対してともに働きかけていきたい。	企画課	無	全般